

みず“しるへ”

編集・発行

国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>

メールアドレス cbr-shinmaru@mlit.go.jp

TEL0574-43-2780 FAX0574-43-3921



2019年(平成31年)4月1日発行

2019
79

2019.3.14撮影

2019年度(平成31年度) 新丸山ダム建設事業概要

新丸山ダム建設事業は、より安全で快適な暮らしを支えるため、木曾川の洪水調節及び水力発電の増強と下流の河川環境の保全を新たに加えた、ダム再生事業です。

これまで、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら、用地補償、付替道路工事、地質調査や環境調査等の各種設計などを進めて参りました。

2018年度(平成30年度)には本体着手に先駆けた「転流工(ダム本体工事に備えて洪水時木曾川の水を迂回させるトンネル水路工事)」トンネル部分の完成、付替国道418号の継続工事を行いました。

2019年度(平成31年度)は引き続き、転流工の呑口部や吐口部の整備を継続するとともに、付替国道418号の整備や工事用道路等の工事進捗を図ります。

また、地域振興の取り組みとしてスタンプラリーに続く新たな取り組みについても地域の方々にご相談しつつ、進めて参りたいと考えています。

流域の安全・安心の確保と地域の発展のため、早期のダム本体着手・完成を目指して、事業を進めてまいりますので、引き続き皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

新丸山ダム建設事業の概要

新丸山ダム建設事業は、木曾川本川中流部に位置する丸山ダムの下流47.5mの位置に、20.2m嵩上げして、ダム機能を向上させます。

洪水調節

新丸山ダムの洪水調節容量は丸山ダムと比較して3.6倍となり、新たな洪水調節により、1983年（昭和58年）9月規模の洪水を安全に流下させます。

流水の正常な機能の維持

渇水時において既得農業用水等の安定的な供給や河川環境の保全等のための流水を確保するため、1,500万m³の容量を新たに確保します。

発電

既設の丸山発電所と新丸山発電所において最大出力22,500kWの発電を増加させます。

ダム側面図



2019年度末(平成31年度末) 工事施工状況

転流工事（呑口部）リーミング立坑掘削完了

転流工事（トンネル部）リーミング立坑掘削完了

2019年(平成31年)1月26日貫通

八百津町潮見 付替国道418号（6号橋）A2橋台完成

恵那市飯地町 付替国道418号（工事用道路）土工着手

国道418号 本線方向

2019年度(平成31年度)の主な事業

①事業費及び主な事業の内容

	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	主な事業内容
多目的ダム 建設事業費	(億円) 79.6	(億円) 88.3	転流工、付替国道418号、工事用道路等の工事進捗を図ります。また、ダム本体関連の各種設計及び付替国道418号、付替県道大西瑞浪線の用地補償を進めます。

②主な実施箇所



天皇陛下御在位三十年 記念ダムカードを発行

◇配布時間

丸山ダム管理所 8:30~17:15

※土日・祝日は、管理所インターホンを押して下さい

新丸山ダム工事事務所 8:30~17:15

※土日・祝日を除く

◇配布期間

2019年(平成31年)2月24日(日)~5月31日(金)まで

◇デザイン

新丸山ダム(建設中) : 『帛(はく)』

天皇陛下が神事のときにお召しなる帛の御衣(おんぞ)の「白」を基調としたデザインです。



転流工「記念石」スタンプラリーの開催結果

新丸山ダム事業への理解と少しでも地域の振興に役立つことに期待を込めて、新丸山ダム本体工事の前段である転流工工事においてトンネル掘削の進捗に合わせ、3回のスタンプラリーを開催、第1弾は123個、第2弾は199個、第3弾は300個を配布しました。

スタンプラリーに協力いただいた店舗からは、「回を重ねる毎に来店者数が増えた」、「八百津町、御嵩町と共同開催できたことで相互の往来や店舗情報の共有ができてよかった」など、大変好評頂きました。

<新丸山ダム転流工「記念石」スタンプラリーの概要>

第1弾	2018年(平成30年)3月23日～4月23日	123個	八百津町	23店舗
第2弾	2018年(平成30年)9月14日～10月5日	199個	八百津町、御嵩町	33店舗
第3弾	2019年(平成31年)2月8日～3月8日	300個	八百津町、御嵩町	57店舗

方法：1店舗500円以上でスタンプ1個押印（1店舗1個限り）、3個集めたら「記念石」と交換



記念石の交換の様子



3つの記念石を集めた方には箱も進呈



配布した「記念石」

八百津町立潮見小学校 記念品除幕式

2019年(平成31)年2月22日に、八百津町と恵那市を結ぶ付替国道418号の工事現場で、地元の潮見小学校の児童が作成した手形タイルを設置し、除幕式を開催しました。タイルには手形とともに思いを込めた言葉も書き込まれ、将来に向け記念に残るものとなりました。

工事現場見学会も開催され、クイズ形式で楽しく説明を受けた後、高所作業車に乗り、遥か上空から自分たちの記念手形や住んでいる地区をながめました。高所作業車から降りてきた子どもたちの目はきらきら輝き「楽しかった～」と満面の笑みでいっぱいでした。



橋の一部に設置された手形タイル